

(別紙様式1)

令和元年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名：宮崎県
農業委員会名：五ヶ瀬町

I 農業委員会の状況(平成31年4月1日現在)

1 農家・農地等の概要

Table with 2 columns: Category, 農家数(戸). Rows include 総農家数 (598), 自給的農家数 (208), 販売農家数 (390), 主業農家数 (127), 準主業農家数 (89), 副業的農家数 (174).

※ 農林業センサスに基づいて記入。

Table with 2 columns: Category, 農業者数(人). Rows include 農業就業者数 (641), 女性 (286), 40代以下 (67).

※ 農林業センサスに基づいて記入。

Table with 2 columns: Category, 経営数(経営). Rows include 認定農業者 (69), 基本構想水準到達者 (2), 認定新規就農者 (4), 農業参入法人 (1), 集落営農経営 (1), 特定農業団体 (0), 集落営農組織 (1).

※農業委員会調べ

単位:ha

Table with 7 columns: Category, 田, 畑 (普通畑, 樹園地, 牧草畑), 計. Rows include 耕地面積 (735), 経営耕地面積 (378), 遊休農地面積 (0.81), 農地台帳面積 (886).

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

Table showing election and appointment details for the old system, including columns for 選挙委員 (定数, 実数) and 選任委員 (農協推薦, 共済推薦, 土地改良推薦, 議会推薦, 計), and a 合計 column.

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 2年 7月 19日

Table showing the composition of the new system, with columns for 農業委員 (定数, 実数). Rows include 農業委員数 (10), 認定農業者 (4), 認定農業者に準ずる者 (2), 女性 (3), 40代以下 (0), 中立委員 (1).

Table with 4 columns: Category, 定数, 実数, 地区数. Row: 農地利用最適化推進委員 (8, 8, 3).

*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	735 ha	268.91 ha	36.59%
課 題	担い手の減少により、思うように集積が進んでいない。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和元年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積 270.91 ha (うち新規集積面積 0.7 ha)
	目標設定の考え方: 認定農業者 1.6ha 認定新規就農者 0.4ha
活動計画	遊休化している農地の解消を図りつつ、中間管理事業等を周知・活用し、担い手への集積を促進する。

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	28年度新規参入者数	29年度新規参入者数	30年度新規参入者数
	2 経営体	1 経営体	0 経営体
	28年度新規参入者が取得した農地面積	29年度新規参入者が取得した農地面積	30年度新規参入者が取得した農地面積
	1.95ha	0.12ha	0 ha
課 題	新規就農者への経営安定のための施策を充実させる必要がある。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和元年度の目標及び活動計画

参入目標数	2 経営体	参入目標面積	0.4 ha
活動計画	SAP協議会など青年就農者の会合を通じて、就農希望者の情報を収集するとともに、農業次世代人材投資事業等、新規参入にあたっての補助制度の周知を行う。 また、制度活用にあたって農地の確保が必要な場合は、地元委員と事務局により、確保に必要な活動を行う。		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

IV 遊休農地に関する措置

1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	735 ha	0.81 ha	0.11%
課 題	遊休農地の発生を防ぐための受け皿である担い手の不足、今後守るべき農地の選別。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和元年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 0.08 ha		
	目標設定の考え方:遊休農地の新規発生を担い手への集積により抑えつつ、農地をしっかりと区分したうえで解消に向け働きかけていく。		
活 動 計 画	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期
		18 人	4月～10月
	農地の利用意向調査	調査結果取りまとめ時期	10月～11月
		調査方法	調査員による現地調査
その他	実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	11月～1月	2月～3月	

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	735 ha	0.18 ha
課 題	農地転用にあたって、手続きの周知があまりできていない。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和元年度の活動計画

活動計画	随時農地パトロールを行う。 広報等により転用の手続きの周知を行う。
------	--------------------------------------

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入